

たった50ミクロンの
歪みでも、
リユースにとっては
大問題だ。

小さなダメージが、小さな問題とは限らない。私たちは部品リユースの信頼性を確保するため、0.05ミリの歪みさえ見逃さない精緻な計測技術を導入。独自の計測機器へと応用し、徹底的な部品機能の診断を行なっています。また、基準をクリアしなければリユースしないという明確なルールを採用。ものづくりの精度を高めると同時に、リユースの対象をさらに拡充することで、CO₂の削減にも大きく貢献しています。部品リユースによるCO₂排出抑制量の増加率は、2000年度-2007年度比で250%を実現。新規資源投入においては、1996年度~2007年度までの12年間で、累計 33,735tもの抑制量を達成しました。ものづくりへの小さなこだわりは、地球の未来さえも左右する。富士ゼロックスは今日も、ミクロの世界で大きな問題と闘っています。

リユース品質を支える計測技術

減らせ、CO₂
環境哲学
富士ゼロックス